

# ベトナム北部ランソン (Lang Son) のキークン川 (Ky Cung River) およびハノイ (Hanoi) の紅河 (Hong River) にみられる淡水生貝類

鵜飼 宏明<sup>1</sup>・小松 俊文<sup>2</sup>・Nguyen Huu Hung<sup>3</sup>・Dang Tran Huyen<sup>4</sup>

( 1 天草市立御所浦白亜紀資料館 〒 866-0313 熊本県天草市御所浦町御所浦 4310-5)

( 2 熊本大学大学院自然科学研究科 〒 860-8555 熊本県熊本市黒髪 2 丁目 39-1)

## Freshwater shells from the Ky Cung River in Lang Son and the Hong River in Hanoi, Vietnam

Hiroaki Ugai<sup>1</sup>, Toshifumi Komatsu<sup>2</sup>, Nguyen Huu Hung<sup>3</sup> and Dang Tran Huyen<sup>4</sup>

( 1 Goshoura Cretaceous Museum, Goshoura 4310-5, Goshoura Town, Amakusa City, Kumamoto Pref., Japan)

( 2 Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University 2-39-1 Kurokami, Kumamoto City, Japan)

( 3 Vietnam National Museum of Nature 18 Hoang Quoc Viet Road, Cau Giay District, Hanoi, Vietnam)

( 4 Vietnam Institute of Geosciences and Mineral Resources Thanh Xuan, Hanoi, Vietnam)

### Abstract

Five species of Gastropoda and five species of Bivalvia were identified from the Ky Cung River in Lang Son and the Hong River in Hanoi, Northern Vietnam.

Key words: Freshwater mollusks, China

### はじめに

ベトナム北部の都市ランソン (Lang Son) は首都ハノイから北東約150kmに位置し, 中国との国境まで約15kmの地域である. ランソン近郊のNa Duong炭鉱には下位よりNa Duong層およびRinh Chua層が分布している. これらの地層からは豊富に淡水生貝類化石が産出する (M. Böhme *et al.*, 2011). M. Böhme *et al.* (2011)は, Na Duong炭鉱より, タニシ科Viviparidaeの1種, トウガタカワニナ科Thiaridaeの*Terebia*と思われる属種未確定の1種, およびイシガイ科Unionidaeの二枚貝4種を, Cao Bang brickyardよりHydrobiidaeの巻貝1種および, イシガイ科Unionidaeの二枚貝である*Cuneopsis*の1種, *Lamprotula*の1種の幼貝と成貝, *Hyriopsis* または*Cristaria*の1種の産出を報告している. M. Böhme *et al.* (2011)がCao Bang brickyardで採集したイシガイ

科は, 中国の現生する淡水生貝類にみられる属より構成される (Qi, 1998). このように, 中国国境と接するベトナム北部ランソン地域は, 中国と陸地の繋がりが密接であり, 淡水生貝類群集が古第三紀から類似している. 中国南部およびベトナムの淡水生貝類の研究は, 化石に限らず現生の分布や分類もほとんど行われていない.

2011年12月4日から3日間ほどベトナム北部を調査する機会があった. その際に, ランソンの市場, Rinh Chua地域のキークン川 (Ky Cung River), ハノイの市場にて生きた淡水生貝類を入手した. 市場の標本は採集地点が定かではないが, それぞれの市場から遠くない地域とのことである. ベトナム北部の淡水生貝類群集の報告は少ない. 本調査はほんの一部であるが, ベトナム北部地域の淡水生貝類相を知る手がかりになるであろう.

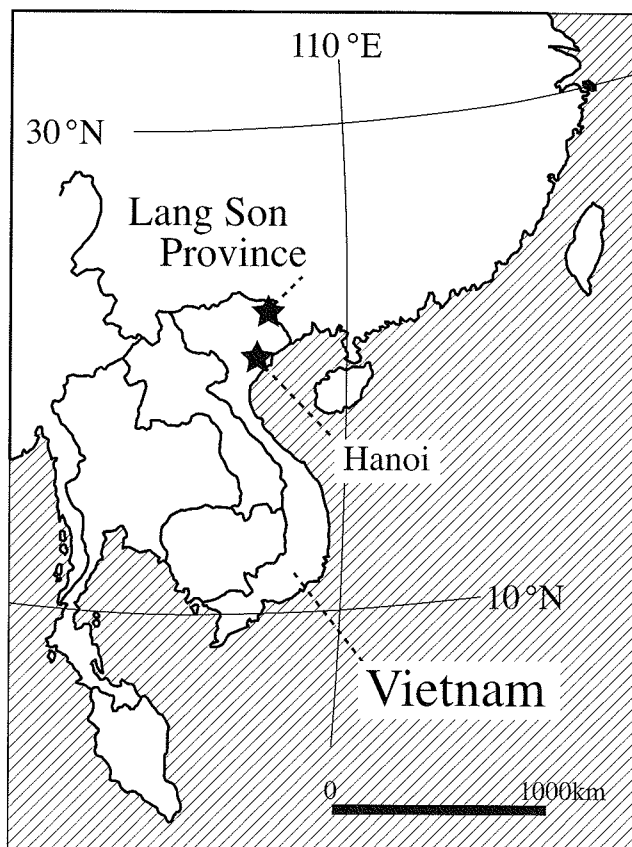


図1. 標本入手地点の位置図.

#### 標本入手の経緯

標本貝類の選定基準は、より多くの種類を収集すること、殻の破損が少ない個体であること、同種と思われる標本では殻が小さいものから大きなものまで選ぶことであった。

2011年12月5日の朝、ランソンの町の路上市場が並ぶバックソン通り（Bac Son St.）の川に架かる橋の近くに2軒の淡水生魚介類を扱う露店があった。露店で貝類は、巻貝をタニシ科とリングガイ科に、

二枚貝を大型のイシガイ科とシジミ科にそれぞれ選別し、大型のザルまたはタライ型の器に分けていた（図2、3）。これらを前述の選定基準にて購入した。

2011年12月5日、Rinh Chua 地域（21°45′16″ N, 106°58′04″ E）のキークン川（Ky Cung River）左岸の水深40cmの転石上で *Brotia* sp. を採集した（図4、5）。

2011年12月7日、ハノイの市場にてシナタニシとヒレイケチョウガイを購入した。



図2. 市場に並ぶ *Angulyagra polyzonata*.

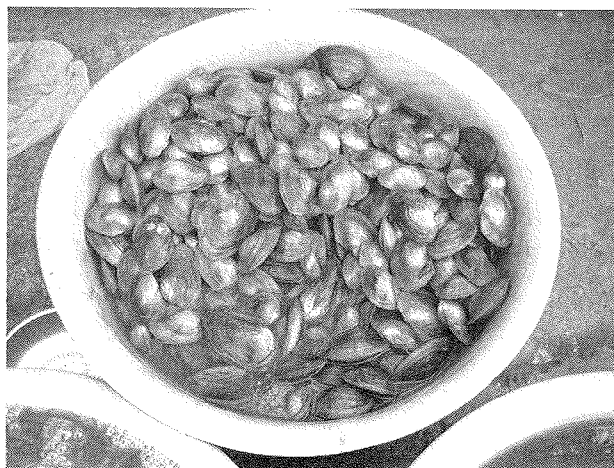


図3. 市場に並ぶドブガイ類.

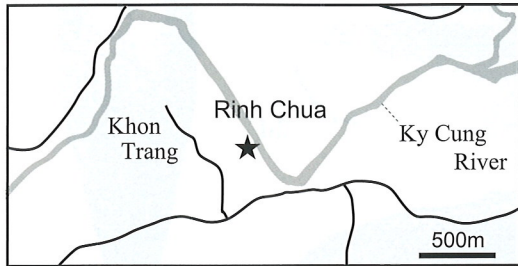


図4. *Brotia* sp. の採集地点 Rinh Chua の位置図.



図5. *Brotia* sp. の採集地, Ky Cung River の川岸.

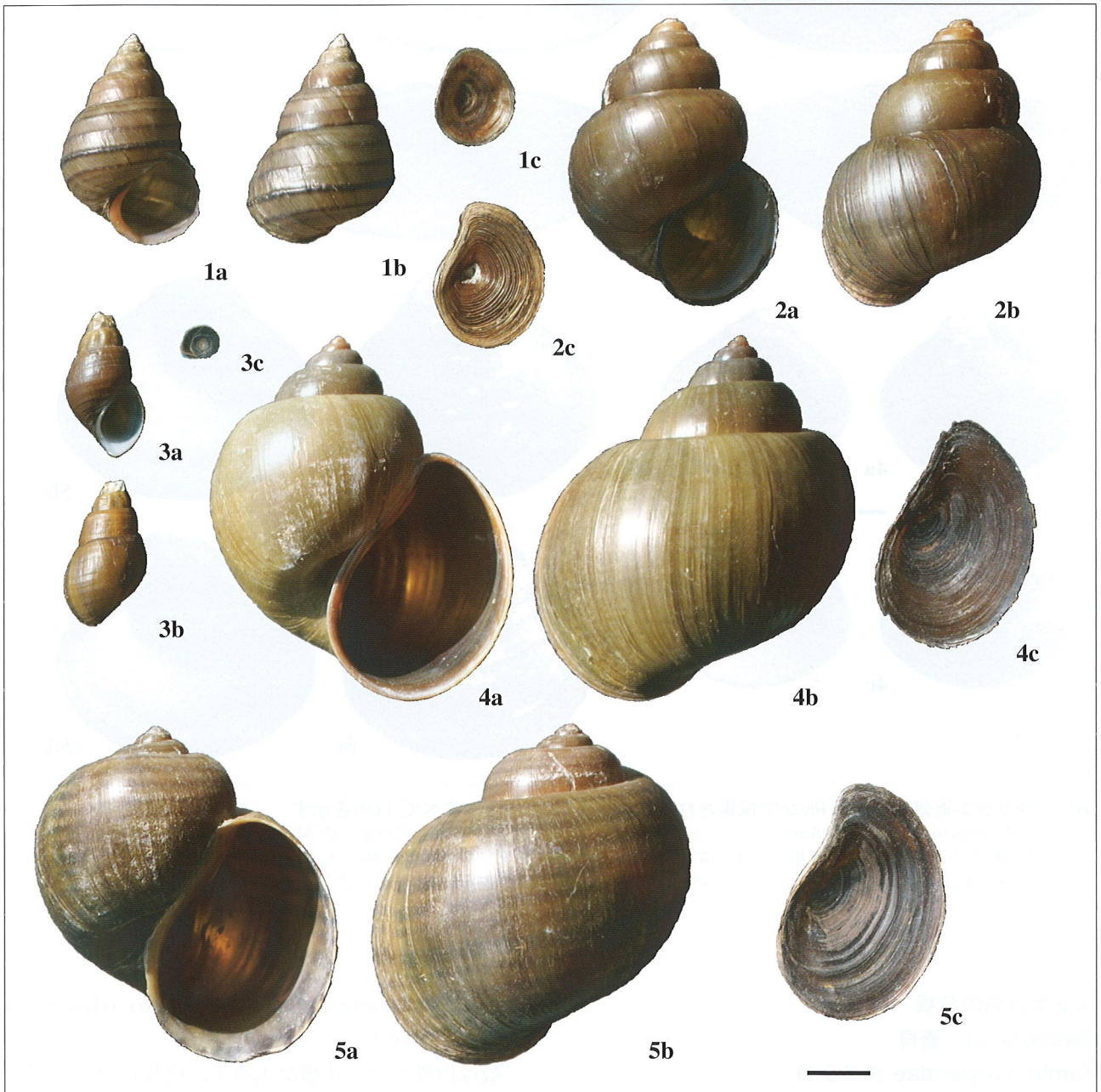


図6 ランソン近郊Ky Cung River およびハノイ近郊の河川で採集された巻貝類. スケールは 1 cm を示す.

1. *Angulyagra polyzonata* (Frauenfeld). ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 482. 2. マルタニシ *Bellamya* (*Cipangopaludina*) *chinensis* (Griffith et Pidgeon). ハノイの市場で入手, GCM-RS 483. 3. *Brotia* sp. Rinh Chua の Ky Cung River 川岸にて採集, GCM-RS 484. 4. *Pila polita* (Deshayes). ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 485. 5. スクミリングガイ *Pomacea canaliculata* (Lamarck). ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 486.

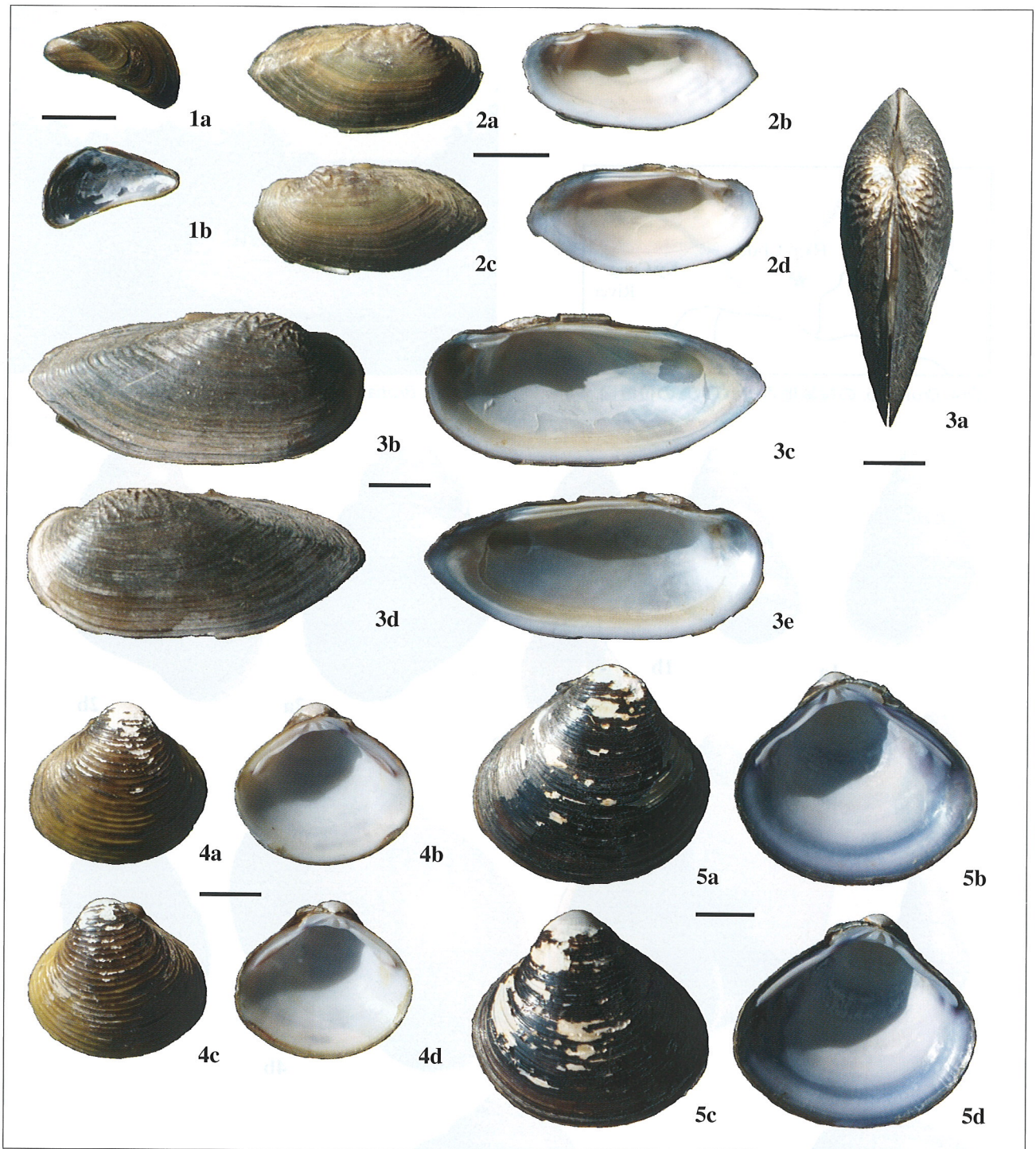


図7 ランソン近郊Ky Cung Riverで採集された二枚貝類。スケールはすべて1 cmを示す。

1. *Limnoperna fortunei* (Dunker). ランソンの路上市場で入手したドブガイ類に付着, GCM-RS 487. 2, 3. *Unio douglasiae* (Gray). 稚貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 488. 3. 成貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 489. 4, 5. タイワンシジミ *Corbicula fluminea* (Müller). 4, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 490. 5, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 491.

### 淡水生貝類の分類

#### Gastropoda 巻貝

#### Family Viviparidae タニシ科

#### *Angulyagra polyzonata* (Frauenfeld) (図6)

殻は黄土から焦げ茶で、軸唇が薄オレンジを呈し、体層の周縁の螺肋が最も太い。分布は、中国、台湾、ベトナムなどである。

#### *Bellamyia (Cipangopaludina) chinensis* (Griffith et Pidgeon) (図6)

殻は円錐形で、体層が大きく、成体になると殻口周縁部分が黒く成る特徴がこの標本でもみられることから、日本のマルタニシに同定した。

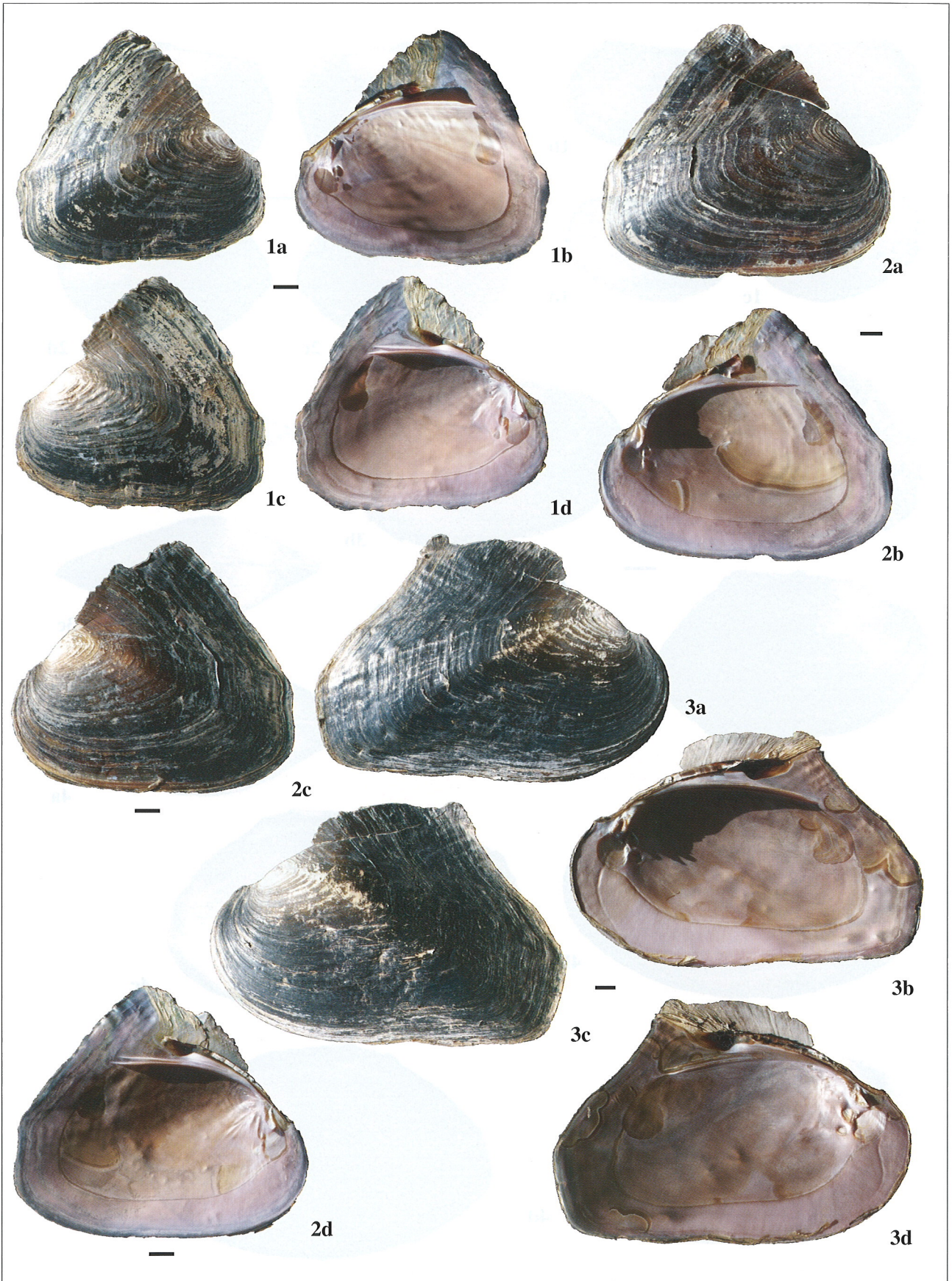


図8 ランソン近郊Ky Cung Riverおよびハノイ近郊の河川で採集されたヒレイケチヨウガイ *Hyriopsis cumingii* (Lea). スケールはすべて 1 cm を示す。

1-12. *Hyriopsis cumingii* (Lea). 1, 稚貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 492. 2, 成貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 493. 3, 成貝, ハノイの市場で入手, GCM-RS 494.

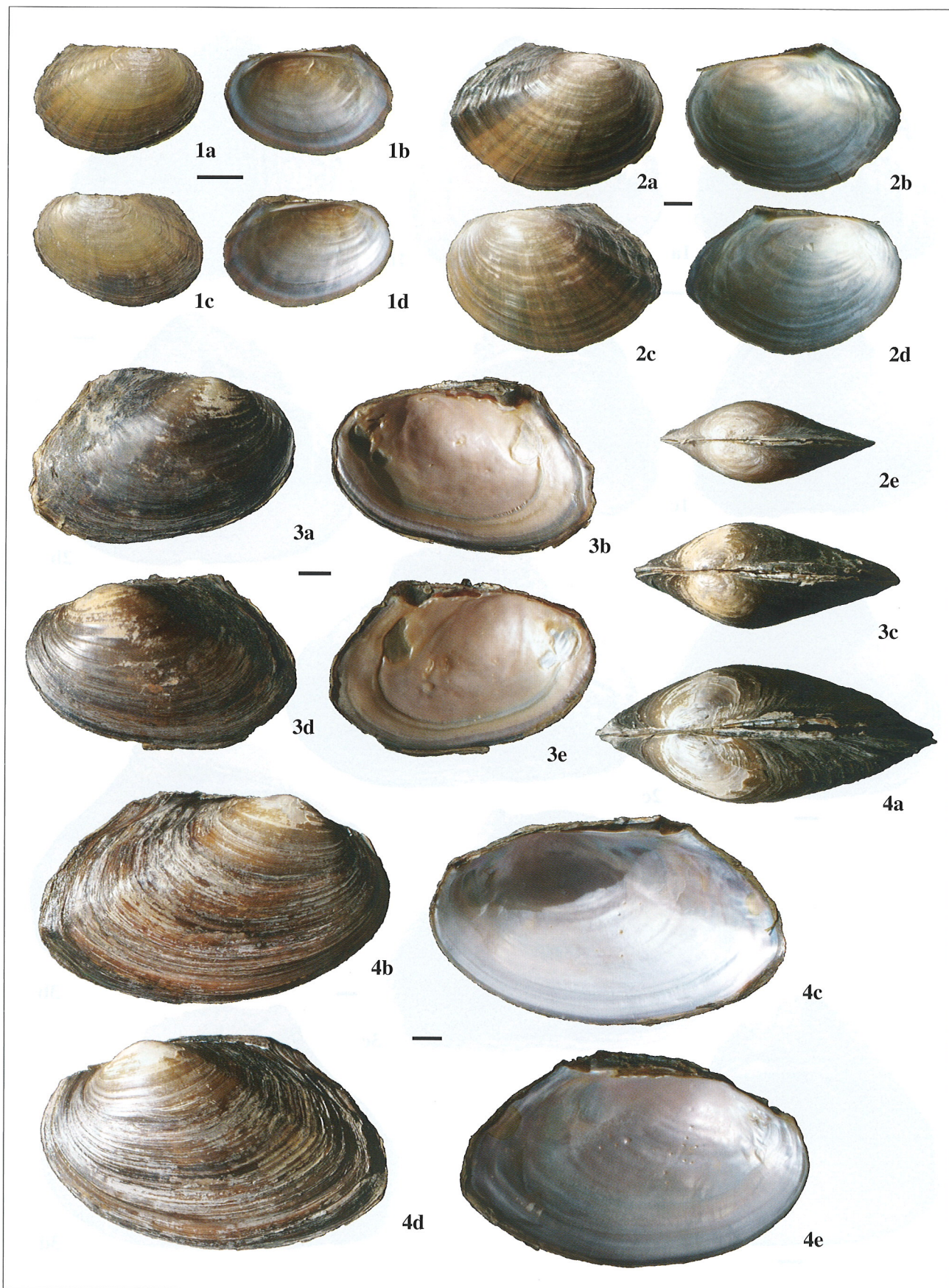


図9 ランソン近郊Ky Cung Riverで採集されたドブガイ *Anodonta woodiana* (Lea). スケールはすべて1 cmを示す。  
 1-4. *Anodonta woodiana* (Lea). 1, 稚貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 495. 2, 稚貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 496. 3, 成貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 497. 4, 成貝, ランソンの路上市場で入手, GCM-RS 498.

**Family Ampullariidae リンゴガイ科***Pila polita* (Deshayes) (図6)

この種は、やや長い卵形で光沢のある緑がかった殻に、殻口の縁がオレンジ色をしている点で、リンゴガイ科では比較的同定し易い。分布は、マレー半島、インドネシア、ラオス、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、タイなどから知られている (Brandt, 1974).

*Pomacea canaliculata* (Lamarck) (図6)

本種は、日本では通称ジャンボタニシと呼ばれている。殻は丸い外形で殻に茶色の帯があり、殻口が薄い。生息分布は、南アメリカ原産であるが、アジア地域に広がっている。

**Family Thiaridae トウガタカワニナ科***Brotia* sp. (図6)

この属の種は多く、東南アジア～南アジアの熱帯～亜熱帯地域の河川に生息する。本標本は小型で、成体ではない。

**Bivalvia 二枚貝****Family Mytilidae イガイ科***Limnoperna fortunei* (Dunker) (図7)

本種は、中国原産で、日本でも琵琶湖などに生息しているのが確認され、日本各地に分布が広がる可能性がある。殻はイガイ形、黒や黒褐色で、稜より前が黄褐色となる。入手標本はドブガイ類の後縁部に多数付着していた。

**Family Unionidae イシガイ科***Unio douglasiae* (Gray) (図7)

日本には本種の亜種であるイシガイ *U. douglasiae nipponensis* Martens が分布している。本種の殻の形態はイシガイと区別することが難しいほど類似している。本種は中国に広く生息している (Qi, 1998).

*Hyriopsis cumingii* (Lea) (図8)

翼状突起がよく発達することで特徴づけられる本種は、中国に主に分布するとされている。成体標本は翼状突起が一部欠損しているが、幼体標本の翼状

突起の発達状態から推測すると、本種に同定できる。*Anodonta woodiana* (Lea) (図9)

日本のドブガイは外形が丸いA型(ヌマガイ)と細長いB型(タガイ)があり、遺伝的2型があるとされている (田部ほか, 1994)。外形がB型の標本は、殻に厚みがあり、殻を乾燥させても割れることはなかった。一方、外形がA型標本は、殻が薄く、乾燥すると殻が割れる傾向が見られた。

**Family Corbiculidae シジミ科***Corbicula fluminea* (Müller) (図7)

日本でも繁殖が問題視されている。このシジミの殻は黄から褐色で内面が全体的に白いまたは紫色を呈する。日本のマシジミ *Corbicula leana* Prime と類似する。

**謝辞**

本調査報告にあたり、標本の処理および撮影協力を頂いた御所浦白亜紀資料館の廣瀬浩司氏に感謝いたします。

**引用文献**

- Brandt Rolf A.M. (1974) : The non-marine aquatic Mollusca of Thailand. *Arch. für Mollus.*, **105**, 1-4, 1-423.
- Madelaine Böhme, Jérôme Prieto, Simon Schneider, Nguyen Viet Hung, Do Duc Quang, and Dang Ngoc Tran (2011) : The Cenozoic on-shore basins of Northern Vietnam: Biostratigraphy, vertebrate and invertebrate faunas. *Jour. Asia. Ear. Sci.*, **40**, 672-687.
- Qi, Zhong Yan (1998) : Economic Mollusca of China. China agricultural publishing company, 317 p. (in Chinese)
- 田部雅昭・福原修一・長田芳和 (1994) : 淡水二枚貝ドブガイに見られる遺伝的2型. 貝雑 *VENUS*, **53**, 1, 29-35.

(2012年2月3日受理)